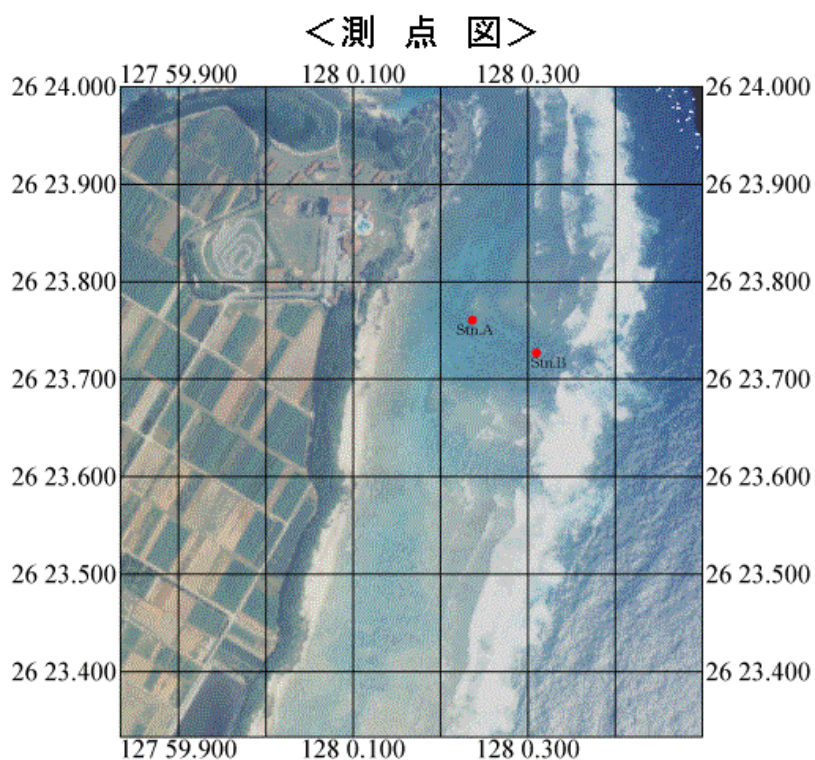


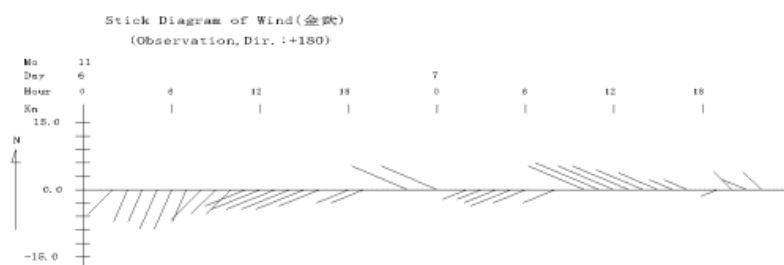
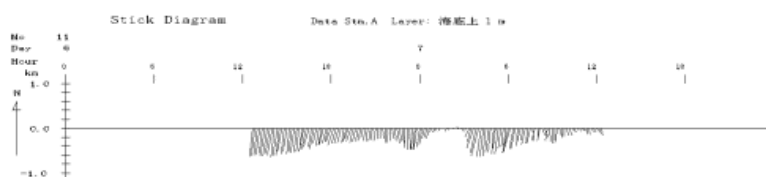
# 伊計島東岸珊瑚礁海域における急潮流観測

平成14年11月6, 7日の大潮時に伊計島東岸珊瑚礁海域において、急潮流観測を実施した。今回の観測は、電磁流速計を海底上1mの位置に1昼夜設置した。



結果、測点 A (水深 2 m) では、全体を通して南の流れがみられ流速は最大 0 . 6 5 k n、測点 B (水深 5 m) では、全体を通して東南東から南東の流れがみられ流速は最大 0 . 4 4 k nであった。また、深夜の干潮時付近流速計のセンサー一部が海面に接近したためか、流速値が低くなっていた。

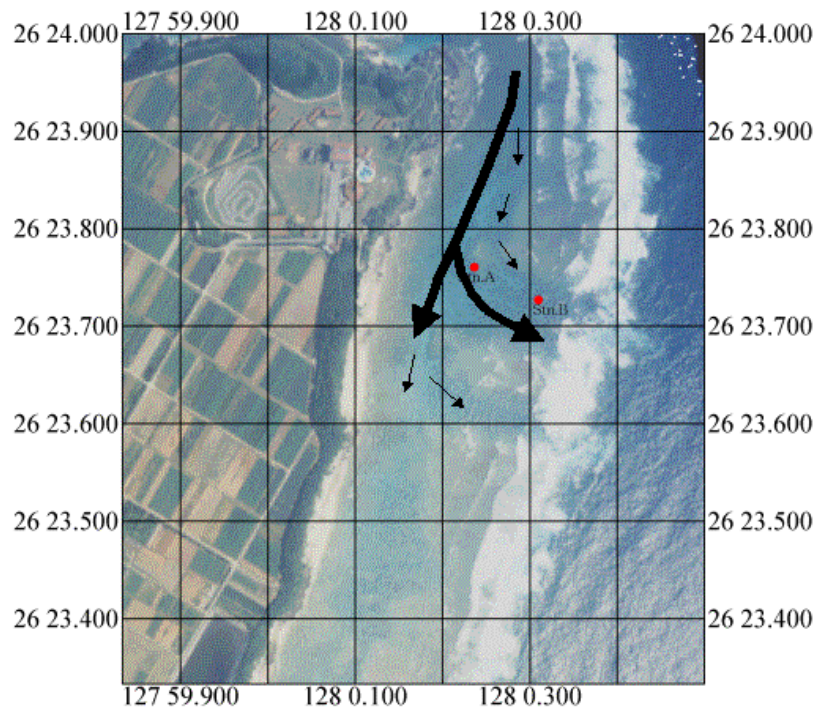
一方、風は 1 1 月 6 日 1 8 時まで北～北東方向から吹いていたが、それ以降は、南東・北東からの風が交互に数時間おきに吹いていた。



$$1 \text{ kn} = 1.852 \text{ km/s} \quad 50 \text{ cm/s}$$

今回の観測では、測点 A , B 共に風の影響を受けず、常に一定方向へ流れるという結果となった。この結果から伊計島東岸珊瑚礁海域における流れは、礁内北部から流入した海水が常に南方向へ流れることがわかった。

<流れ予想図>



(参考) 平成14年10月22日の大潮時の満潮から干潮に向かう時間帯に漂流ブイを流した。今回の観測結果とほぼ同様の流れであった。

